

平成 2 9 年度 青少年問題協議会

会 議 次 第

開催日時:平成 30 年 2 月 27 日(火)

午前 10 時 00 分開会

開催場所:野田市保健センター3 階大会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 市長挨拶

4 委員紹介

5 議 事

(1) 平成 2 9 年度 教育委員会の事業（青少年健全育成
に関する取組）について

(2) 平成 3 0 年度 青少年健全育成の取組について

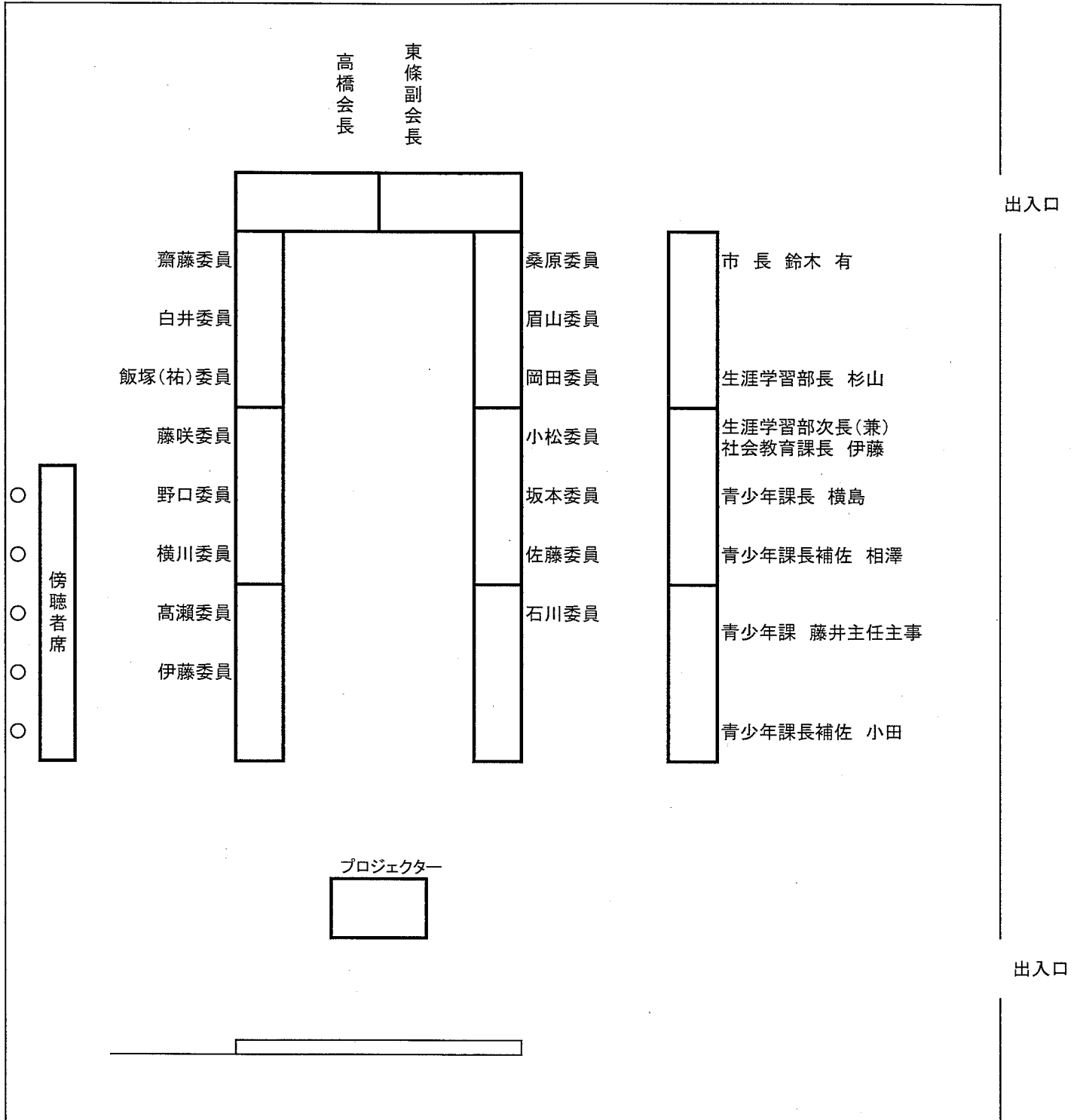
(3) その他

6 閉 会

No.	配布資料一覧
1	平成 2 9 年度教育委員会の事業（青少年健全育成に関する取組）について
2	平成 3 0 年度青少年健全育成の取組について
3	平成 2 9 年度野田市子ども安全情報について

平成29年度 青少年問題協議会 席次表

平成30年2月27日(火)午前10時00分～
野田市保健センター 3階 大会議室



平成 29 年度

教育委員会の事業（青少年健全育成に関する取組）について

青少年を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、青少年の健全育成及び非行防止を図るため、大きく三つの施策を推進いたしました。

- （１）青少年の健全育成活動の推進
- （２）青少年の非行防止及び環境浄化活動の推進
- （３）家庭教育学級の充実

今年度実施しました諸事業は次のとおりです。

（１）青少年の健全育成活動の推進

○地区別懇談会の開催

・目 的

地域社会の青少年育成機能の弱体化や青少年育成団体の連携不足などの問題を解消するため、各中学校区内で活動している育成団体等が一堂に会し、子ども達の成長に関し情報交換や各団体間の事業調整などについて連携を図るもの

・実施状況

市内各中学校区において、次のとおり地区別懇談会を開催し、情報交換や意見交換を行いました。

H 29 年度 会議内容

第 1 回

（１）教育委員会からの報告

①青少年問題協議会からの提言

「平成 29 年度青少年健全育成活動のテーマ」について

②子ども安全情報の経過報告について

（２）学校、地域、団体からの報告

①学校の近況報告

児童、生徒の様子（いじめ、不登校、長欠、非行等）について

②地域、団体から見た地域の子どもの様子について

（３）今後の取組についての意見交換

【テーマ】

「子ども達が安心して過ごすことのできる地域にするために」

・関係団体 中学校区内の育成団体等

番号	地区名	第 1 回開催	第 2 回開催
1	関宿中学校区	11 月 8 日	—
2	二川中学区	—	—
3	木間ヶ瀬中学校区	—	—
4	川間中学校区	11 月 14 日	—
5	北部中学校区	7 月 12 日	2 月 16 日
6	岩名中学校区	11 月 17 日	—
7	第一中学校区	11 月 24 日	—
8	第二中学校区	11 月 28 日	—
9	東部中学校区	2 月 25 日	—
10	福田中学校区	11 月 15 日	—
11	南部中学校区	4 月 29 日	11 月 25 日

※記入のない学区については、会議の日程調整がつかなかったため開催しておりません。

- ・30年度も引き続き、実施してまいりたい。

○オープンサタデークラブの開催

・目 的

土曜日に地域の教育力を活用した課外活動を行うことにより、子どもたちに体験を通じて「豊かな人間性の育成と共に規範意識を育む」場を創出するもの。

・実施状況

市内27会場で文化・芸術、体育の36講座を第1・第3土曜日の午前9時から11時まで、青少年健全育成団体等の協力により実施しました。児童・生徒が異年齢の方々と交流し社会性や人間性を育む絶好の機会となっています。

また、オープンサタデークラブのPR、クラブ相互の情報交換も兼ね、児童・生徒たちが一年間行ってきた活動成果を披露する「クラブフェスタ2018」についても、平成30年2月16日（金）から2月18日（日）の3日間、野田市郷土博物館・市民会館にて開催しました。

オープンサタデークラブ 登録者数 (平成30年1月31日終了時)				
	小学校	中学校	合計	前年比
在籍児童・生徒（a）	8,237人	4,010人	12,247人	△116
登録者数（b）	1,277人	17人	1,294人	△1
登録率（b／a）	15.5%	0.4%	10.6%	+0.1%

・関係団体

25団体等（20団体、個人講師5）

【野田柔道会、野田市剣道連盟、NPO 野田レク協会、NPO 法人アルファバドミントンネットワーク、アルファ岩名ジュニアバドミントンクラブ、川間ジュニアバドミントンクラブ、中根ジュニアバドミントンクラブ、野田市アマチュアゴルフ協会、野田現代邦楽アンサンブル、津久太鼓「響」、野田市茶道協会、野田いけばな協会、野田日舞連盟、横川礼法きもの学院、野田囲碁会、日本将棋連盟関根金次郎支部、生涯学習ボランティアサークル「ほのぼの会」、野田美術会、東京理科大学、日本珠算連盟野田支部、個人講師5】

・30年度も引き続き、実施してまいりたい。

○柔剣道大会の開催

・目 的

柔剣道を通して青少年の体位向上と心身の錬成を図り、青少年の健全な育成に寄与することを目的とするもの

・実施状況

平成29年4月16日（日）、野田市総合公園体育館において開催し、野田柔道会及び野田市剣道連盟による模範演技の後、柔道の部には64人、剣道の部には191人の参加をいただき部門別個人戦、団体戦が行われ、それぞれ白熱した試合が繰り広げられました。

・関係団体

青少年相談員連絡協議会・青少年補導員連絡協議会・野田柔道会・野田市剣道連盟・小中学校体育連盟

・30年度も引き続き、実施してまいりたい。

○子ども釣大会の開催（同時開催：障がい者釣大会）

・目 的

自然の中での釣り体験を通し、子どもたちに社会活動、自然の大切さ等を教え、また、障がい者と健常者との交流の場を作り福祉増進にも努めようとするもの

・実施状況

平成29年6月3日（土）、旧関宿クリーンセンター調整池において開催し、111名の子ども達の参加がありました。自然の中、親やお友達、そして大会関係者等と親睦、交流を深め、楽しい一日を過ごすことができました。

子ども釣大会実行委員会

【野田市釣会連合会、野田錦鯉同好会、野田市子ども会育成連絡協議会、あおいそら運動推進委員会、東葛北部土地改良区事務所】

・30年度も引き続き、実施してまいりたい。

○こどもまつりの開催

・目 的

子どもたちにより良い遊びと創造の文化を与え、みんなで子どもたちを守り、健全な地域社会を作るもの

・実施状況

平成29年10月22日（日）、柳沢小学校において開催を予定しておりましたが、台風21号等の影響により、大雨や大荒れとなるおそれがあったことから、参加児童等の行き帰りの安全の確保を考慮し中止としました。

・関係団体

こどもまつり実行委員会

【野田市子ども会育成連絡協議会・野田市リーダースクラブ・野田市子連、仲、下、太子堂子ども会、野田スカウト連絡協議会・ボーイスカウト野田第5団、ガールスカウト千葉県88団、野田市青少年相談員連絡協議会、野田市民生委員児童委員協議会、野田レクリエーションクラブ、NPO野田レクリエーション協会、野田地区更生保護女性会、生涯学習ボランティアサークルほのぼの会・クラフトくらぶ、小中学校PTA連絡協議会、NPO学区安全サポートクラブ、野田醤油一番隊、】

・30年度も引き続き、実施してまいりたい。

○少年野球教室の開催

・目的

市内の少年野球チームの指導者及び子どもたちを対象に少年野球教室を開催することで、生涯学習としての地域スポーツの振興と青少年の健全育成を図るもの

・実施状況

平成29年11月26日（日）、野田市総合公園野球場において開催し、指導者として招いた法政大学野球部真木コーチ及び野球部員42名から、少年野球チーム13団体、中学校野球部11校の子どもたち220名、少年野球チーム及び中学校野球部の指導者49名の計269名が野球の指導を受け、普段は決して接する機会のない方と交流すると共に、野球技術の習得、規範意識の向上を図ることができました。

・関係団体

野田市少年野球連盟

運営協力（ボランティア）

西武台千葉中、高等学校混成による吹奏楽部、ダンスドリル部 79人

西武台千葉高等学校野球部によるグラウンド整備等 60人

- ・30年度も引き続き、実施してまいりたい。

○ふるさと伝承講座の開催（世代間交流事業）

・目 的

小中学校を会場に地域の育成者や関係団体の協力を得て、昔から伝えられてきたふるさとの文化や習慣・風俗を伝承することにより、世代間の交流を深めようとするもの

・実施状況

学校支援地域本部 地域教育コーディネーターとの協働により地域の人材をご紹介いただき実施いたしました。

今回は、平成30年2月5日（月）、2月21日（水）の2日間、関宿中央小学校において開催し、2月5日は1年生2クラス52名を対象に、野田市厚生保護女性会、二川地区社会福祉協議会、あおいそら運動二川支部の皆さんに昔から伝えられてきた遊びを伝承していただきました。

そして、2月21日には有限会社長命庵の皆さんにうどん作りを教えてください、日本の食文化に関心を持ってもらおうと共に世代間の交流を特別支援学級の18名を対象に開催し有意義な時間を過ごしました。

・関係団体

野田市厚生保護女性会	飯野 きみ子	他8名
二川地区社会福祉協議会	村田 イネ	他7名
あおいそら運動二川支部	細井 久男	他3名
有限会社 長命庵 代表取締役	邑楽 勇	他2名
木間ヶ瀬公民館館長	鈴木 寿美夫	
地域支援コーディネーター	中村 れい子	

- ・30年度も引き続き、実施してまいりたい。

○親子映画会の開催（第35回）

・目的

親子のふれあいを深めるとともに子どもの情操を養うために実施するもの

・実施状況

平成30年3月4日（日）午後1時より野田市文化会館大ホールにおいて開催する予定。

ユニバーサルスタジオ制作の大ヒット

「怪盗グルー」シリーズの第3作目 「怪盗グルーのミニオン大脱走」(DVD)を上映し、親子のふれあいの機会を設け、子どもの情操教育を養うべく実施いたします。

・関係団体

野田市子ども会育成連絡協議会

- ・30年度も引き続き、実施してまいりたい。

○ジュニアリーダー養成講習会の開催

・目的

子ども会のリーダーとしての役割やレクリエーション、野外活動等を習得させるために実施するもの

・実施状況

平成29年度は、子ども会会員29名（小学4年生8名、5年生11名、6年生10名）が受講し、1月末現在、全14回中13回の講習会が終了しています。その中で「なんもく村自然公園キャンプ場」（群馬県甘楽郡南牧村）での2泊3日の野外実習も実施されており、ジュニアリーダーの育成が図られています。

・関係団体

野田市子ども会育成連絡協議会

- ・30年度も引き続き、実施してまいりたい。

(2) 青少年の非行防止及び環境浄化活動の推進

○非行防止のための街頭補導

・目的

青少年の非行防止を図るため、街頭補導を積極的に行うもの

・実施状況

青少年センターでは、定期的に大型店・ゲームセンター等の街頭補導を実施し、非行防止及び声掛け運動が推進できました。

また、青少年補導員との合同により地域の実態を考慮しながら、集中的な街頭補導を実施することができました。

さらに、例年実施している県下一斉合同パトロールとして、中央地域を対象とした夜間街頭補導、列車補導、駅周辺集中街頭補導も実施しました。

街頭補導実施状況

(平成 30 年 1 月 31 日現在)

補導時間帯	補導少年数 (人)			回 数 (回)	従事者数 (人)
	男	女	計		
午前(7時～11時)	10	4	14	291	713
午後(2時～5時)	8	7	15	301	746
夜間(6時～9時)	0	0	0	32	176
計	18	11	29	624	1,635

- ・30年度も引き続き、非行防止を図るため活動してまいりたい。

○環境浄化活動の実施

・目 的

青少年の健全育成を阻害するような環境を浄化するもの

・実施状況

平成29年12月16日（土）青少年センター、青少年補導員、青少年相談員の三者合同による環境浄化活動（市内の電柱に貼られている違法ビラの撤去活動）を実施しました。

近年、違法ビラが少なくなってきたため、市内の状況を確認しながら実施いたしました。

環境浄化活動（違法ビラ撤去）

（平成29年12月16日実施）

違法ビラの撤去	回数	枚数
補導員・相談員	1	16

・関係団体

野田市青少年補導員連絡協議会、野田市青少年相談員連絡協議会

- ・30年度も引き続き、環境浄化を図るため活動してまいりたい。

○子ども安全情報の配信

・目 的

学校や野田警察署からの不審者情報を共有し、家庭・学校・地域が連携して児童生徒を犯罪から守ろうとするもの。

・実施状況

不審者情報を配信することで、家庭、学校、地域が情報の共有を図り、児童生徒の安全・安心に努めました。

平成30年1月31日現在の「まめメール子ども安全情報」の登録者数は、14,280件で昨年度の同時期と比較して501件の減となっています。

次に、配信状況ですが昨年度の年間配信件数は全部で41件。1月末と比較しますと、露出が13件（昨年度7件）、声かけが8件（昨年度18件）となっており、全体の配信件数は10件減の24件（昨年1月末34件）となっています。

また、青少年健全育成団体が一堂に会する地区別懇談会及び地域で開催される会議等に参加させていただき不審者に遭遇した或いは不審者を目撃した場合は、警察署にまず一報のご協力をご参集の皆様方をお願いしてまいりました。

・啓発「まめメール子どもの安全情報 登録推進」

平成30年4月に入学する新小学1年生の保護者に対し子ども安全情報の配信状況及び加入促進のお知らせの案内を学校を通じて入学説明会等に配布いたしました。（入学予定者1,234人）

登録者件数 14,280件

情報配信数 24件(前年1月末34件)

(平成30年1月31日現在)

・30年度も引き続き、実施してまいりたい。

○情報モラルに関する講演会

・目 的

平成29年度青少年健全育成活動のテーマの一つである「子どもたちが安心できる社会環境づくり」の推進活動事業として、インターネット（特に携帯電話・スマートフォン等によるもの）の危険性について、実際に自分の携帯電話等を使い子どもたちがよく利用しているサイトの実態を知り、地域・家庭内でのペアレンタルコントロール能力の向上を目指すもの。

・実施状況

開催日 平成29年8月4日（金）

参加者 70名

講 師 千葉県警察本部 サイバー犯罪対策課
情報セキュリティアドバイザー星野 和彦先生

講 演

「ネット・トラブルの現状」

子どもたちが利用しているネット情報の現状に触れ、大人（保護者）が携帯・スマホ等を利用する子どもたちに無関心ではいけないことや、ネット犯罪が年々変化し対応が難しい現状を踏まえ、ペアレンタルコントロール能力の向上を推進しようと努めました。

- ・啓発 市内の新中学1年生となる生徒の保護者に対しスマートフォン等を子どもに買い与える際の家庭でのルール作り、フィルタリング機能の活用に関するチラシを入学説明会等に学校から配布いたしました。（入学予定者1,244人）

- ・30年度も引き続き、啓発及び大人の監視能力の向上を図るため実施してまいりたい。

※ ペアレンタルコントロールとは、子どもによるパソコンや携帯電話などの情報通信機器の利用を、**親が監視して制限する取り組み**のことである。最近ではテレビゲーム機で遊ぶ時間の制限なども、このように呼ばれることがある。

(3) 家庭教育学級の充実

○家庭教育学級の開催

・目的

家庭や家族を取り巻く社会状況の変化の中で、家庭の教育力の低下が指摘されていることから、家庭教育の振興を目的として、保護者を対象に家庭教育に関する講座や講演を実施するもの

・実施状況

■家庭教育学級の開催

幼児及び小学生の保護者を対象に、連続講座を開設し家庭での教育力の向上を図るもの。

・家庭教育学級の実施

- ① 小学生の保護者を対象に 20 小学校を八つのコース（地域）に分け、各公民館で延 46 回の講座を実施し、延べ 5,777 人の参加がありました。
- ② 幼児（3～5 歳）の保護者を対象に中央公民館・関宿中央公民館で 11 回の講座を開設し、延べ 178 人の参加がありました。

■就学時健康診断時家庭教育講演の開催

小学校入学前児の保護者を対象に、家庭教育の必要性を理解してもらうとともに、基本的生活習慣の啓発を図るもの。

・就学時健康診断時家庭教育講演の実施

全小学校を対象に計画し、保護者に基本的生活習慣や入学までの心構え等についての講演を実施しました。延べ参加者数は 1,286 人でした。

■出前家庭教育講演の開催

中学生の保護者を対象に、家庭教育のあり方と親子の関わり方や思春期の子どもの健全育成と問題行動の防止等についての啓発を図るもの。

・出前家庭教育講演の実施

中学校行事で保護者が集まる機会を利用して家庭教育のあり方と親子の関わり方や思春期の子どもの健全育成と問題行動の防止等についての講演会を実施しました。全中学校を対象に計画しておりましたが、川間中学校が都合により講演会の開催がなかったため、11 校で実施し、延べ参加者数は 1,214 人でした。

- ・30 年度も引き続き、実施してまいりたい。

平成 30 年度青少年健全育成の取組について

1 これまでの経過について

教育委員会では、平成 18 年度から、各中学校区において子どもの健全育成にご尽力、ご協力いただいている団体の皆様にお集まりいただき、青少年健全育成団体地区別懇談会を開催しています。懇談会では、学校、家庭、地域における子ども達の様子や、各地域で実施されている子どもたちの健全育成に係わる事業についてお話しいたいただき、子どもの健全育成に関する活動の現状や課題などについての意見交換を行っています。

平成 19 年度は、地区別懇談会からの意見をもとに青少年問題協議会で議論いただいた内容を「地域・家庭・学校における青少年健全育成活動について」と題し提案書としてまとめ上げ、これを各地区別懇談会において提案させていただきました。

また、平成 20 年度からは、地区別懇談会で出された意見を参考に、青少年の健全育成活動を推進するための「青少年健全育成活動のテーマ」を毎年見直し、これを青少年問題協議会においてご審議いただいた上で、野田市全体の推進テーマとして各地区別懇談会に報告し、あらためて地域の皆様に青少年の健全育成に向けての更なるご協力をお願いしてきています。

そしてまた、平成 26 年度からは、マスコミでも度々取り沙汰されるいじめ、不登校、非行等の実態についても学校からお話をいただき、現在の学校の状況、地域にやっていただきたい事、やるべき事等をあらためて再確認するとともに、あいさつ、声掛け等を推進する方法についても話し合い、今後の推進方策の手がかりも幾つか上がってきています。

そうした中で見えてきているものは、やはり、大人ひとりひとり、保護者ひとりひとりの意識が高まれば、地域もより一層良くなり、子ども達もより一層健全に育つということ、そして、それを理想ではなく目標として掲げ、家庭、学校、地域、団体等は青少年健全育成のための活動をさらに盛り上げ、時には相互に連携しながら継続的に取組んでいかなければならないということが明らかになってきています。

2 地区別懇談会からの意見について

平成29年度の学校・家庭・地域における子ども達の様子、そして学校・地域・団体の青少年健全育成活動状況等を把握するため、地区別懇談会を開催し、学校、PTA、自治会、各種団体の代表者の方々から、それぞれの青少年の健全育成を図るためにどんな取り組みをし、日頃どういったことを感じ、またお考えになっているのかをお伺いしたところ、現在実施している活動、抱えている課題、地域の状況について様々な意見が出されました。

そこで、今回もこれらの意見を「平成29年度の青少年健全育成活動のテーマ」に沿って分類し、整理いたしました。

テーマ1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

民生委員の研修会であった話だが、関西の大きなマンションでは子どもには声を掛けない。ついて行ってしまうから。野田市でもそういった考え方が少し有るのかなのか、ちょっと気になっている。(第一中学校区)

子どもは何であいさつするんだとの電話があった。出会う人みんなにするが、我々小さいときには、知らない人には声を掛けるなど指導されたとのこと。説明したが平行線だった。今は学校全体であいさつは行っている。(第一中学校区)

地域の中では、あいさつが今一歩かなと言う話も聞いているので、これから指導していきたい。(第二中学校区)

福中を中心にあいさつということで、小中足並みをそろえて取り組んでいる。
(福田中学校区)

あいさつに力を入れている。あいさつ名人、30人以上認定ということで、力を入れているが、「おはようございます」はできるが、「こんにちは」とか来校者にあいさつができないという実態があることから、指導していくこととする。(福田中学校区)

目印的なものを作るのには時間がかかると思うが、防犯上ある程度カメラがついている場所があるので、あいさつゾーンとしてカメラで撮っているところであれば、あいさつを交わすことができるというような場所を多く設けて進めていくのがいいのかと思う。
(福田中学校区)

今逆に子どもの方からあいさつするケースが極めて多くなっているので、逆に我々が見習わなければいけないなと思っている。(川間中学校区)

地域の子どもたちと大人たちが顔見知りになるといいわけですね。私たち大人としても、自宅の前で声をかけるとか意識を持って継続的に行うこと。おはよう、いってらっしゃい、おかえりなどの声かけをしている。(川間中学校区)

市報配布中、部活の中学生は朝練ですれ違った時に、あいさつをしてきてくれた。気持ちよかった。小学生は、声を掛けると逃げてしまう。(岩名中学校区)

下校パトロール時、ベストを着ていると、安心して声を掛けてくれる。よくあいさつをしている。(岩名中学校区)

小中連携しており、中学生の影響が凄く小学生には大きいです。中学生があいさつをしている姿を見て小学生も真似してあいさつをする。(関宿中学校区)

犬の散歩を子ども達の下校時間に合わせている。毎日顔を合わせると、始めはそっぽを向いていた子が、顔を見て会話するようになり、うれしくなる。大人から声をかけると合わせてくれる。(関宿中学校区)

この地域(関宿)では腕章等によって左右されない、「挨拶も自然にできることを学ばせたい」としてきたことと相反する。他人から守ってもらうのではなく、自分で守ることを学ばせたい。(関宿中学校区)

大人の人たちも、知的障がい者には声を掛けていない。引いている。その辺から変えていかないといけない。(関宿中学校区)

サインについて

リストバンドであるとかワッペンであるとかを配るときは、だれに配るのか。子どもの見守りをしなければいけないと思っている人は付けるでしょうが、そうではない大人の方は、簡単に廃棄したり、悪用したりというようなことも考えられるので、今現在有るものを利用し新たなものは作らない方がいい。(第二中学校区)

子どもたちの意見を聞いてはどうでしょうか。子どもたちがこういうものを持っている人は安全だと感じるかですね。バッチをつけていればあいさつをしてもらえるのかとか、子ども達がどんな意識を持って活動に参加しているのか等々。(福田中学校区)

バッチとかワッペンとか帽子とか、通し番号とかで管理するのが大変。子どもたちが顔を覚えて親しみやすい関係を築いていくという方法は如何でしょうか。学校に是非来ていただいて子どもたちと触れ合う機会があったりすればいい。(福田中学校区)

サインを作るとかつくらないとかの結論を出す前に、各学校で子供の意見を踏まえて結論を出した方がいいと思う。(福田中学校区)

サインですけど、ユニホームとかは組織として活動するときの物だと思う。

松戸、我孫子の見守りたいは、隊員として登録している。組織として活動しているのと日常の活動は別だと思う。それははっきりしないといけない。

子ども達を見守る上で、必要以上の声掛け、子どもに疑われるような声掛けはしないと
いった大人たちの意識改革、そっちが大事だと思う。(川間中学校区)

誰が見ても分かるワッペン。5 cm面のワッペンは目立たない。見守りするときにつけるのは、ある程度の大きさのワッペンが必要である。

(例 図書ボランティア)(岩名中学校区)

制作委員会を作り、岩名中学校区の、ワッペンを作る。中学校区で作りましょう。(岩名中学校区)

地域性があり、関宿の子どもの遊び場は境。東武動物公園。

大人も子ども声かけをやれば関宿地域は、サインは不要。(関宿中学校区)

テーマ2 地域における健全育成活動の推進

子どもの虐待で、暴力もそうだが食事の虐待もあるんじゃないかと思いますが、そういう事例が有るのかなのか教えていただきたい。朝ご飯については、家庭内のことなので把握が難しい。アンケート結果では朝はしっかりと食べている子が多い。(第一中学校区)

地域の皆さんに目に見えるような形で学校の姿を知らせたいと常に考えている。
そのために、学校便りの地域回覧というのをはじめさせてもらった。ホームページの平均アクセス数は、本校の生徒の大体その倍ぐらいの人数に見てもらっているなという実感があります。部活の成績を、通りすがりの方にも見ていただこうと思って、横断幕で校舎に張り付けている。(第二中学校区)

地域に出かけろと指導している。地域から学校に来てもらっているが、むしろ学校から地域に出向いて顔を覚えてもらおうと二中の生徒だと、声かけがしやすいんじゃないかと思っている。学校に来るのは限られている。(第二中学校区)

早寝、早起き、朝ごはんということで、夏休み明けから取り組んでいる。懇談会で話題にしなが、家庭にも協力をお願いしているところです。(福田中学校区)

福一小の回りの自治会ですが、地域に貢献しようということで、例えば道路を清掃する

とか、草を積むとか、子どもたちの登下校を見守るとか、散歩をすること、自転車に乗ること、車に乗ることもすべて地域の防犯活動の一環です。

大人たちに意識を持ってもらうことが大事。地域全体が地域に関心を持つことをふくめて大切。(福田中学校区)

体験活動は、川間小、尾崎小の土曜授業に行ってボランティア、サポートしている。岩木小、七光台小にも行っている。30名以上希望しているので、割り振って行っている。陸上部は、野田市の陸上大会でお手伝いをしている。ダンスやブラスバンドも声をかけてもらっている。地域に恩返しができればと思っている。(川間中学校区)

尾崎6区の文化祭が行われた。見に行ったところ、ゲームなどで大人と子どもの交流があった。こういう集まりの中で交流が大事だと思った。地道なことが地域の中に安心感をもたらすと感じた。(川間中学校区)

地域の人が落ち葉の清掃をしてくれる。地域に根ざした学校です。70%前後の生徒がボランティア活動をしています。デイケアに行き、クイズや楽器の演奏を行い施設利用者と交流している。(岩名中学校区)

地域の行事で(2日で2,500人が来場)、岩名中の中学生が夜店のサポートをしてくれた。売り子など2日で30人ぐらいの生徒がボランティアをしてくれた。(岩名中学校区)

昨年从不審者が出たとき、中学生が小学校に行って小学生と一緒に家の近くまで集団下校するというのを始めた。

東葛飾、県を経て素晴らしいとのことで、全国での発表となりました。第67次教育研究全国集会第19分科会、メディア・リテラシー教育と文化活動で小中の連携で発表させてもらった。(関宿中学校区)

土曜授業を見直してほしい。地域での活動(、そば作り(種まき・刈取り))が家庭の用事や習い事が重なり、地域活動に支障が出る。(関宿中学校区)

テーマ3 子ども達が安心できる社会環境づくりの推進

12月9日、土曜授業を兼ねて、スマートホンやラインやSNSについて、保護者や地域の方にご参加していただいて、実態調査を基にした専門家からの講演、その後、保護者の方々、地域の方々と討議をし、家庭でどのような対応ができるか、地域でどんな対策を考えていけるか、話し合いの場を計画している。(第一中学校区)

スマホを所持している生徒が多く、トラブルまではいかないが予備軍がいる。年間3回

情報モラルを行っている。全生徒プラス保護者に啓発するように取り組んでいる。保護者にも沢山参加してもらいたいに至っていない。(第一中学校区)

親たちが地域に関心を持たない方が多いので、地域に関心を持つことが必要なんだと分かってくれば関心も持つだろうし今後につながる。

子どもより自分たちのことでいっぱいになっている。(第二中学校区)

先日、SNSに安易にアップしてしまっという事案が高学年にあったので、携帯の使い方についての講習会を、5・6年生、保護者を対象に実施した。(福田中学校区)

SNSで急に盛り上がってしまうということが普通の子にも有り得る時代になってきたんだと痛感した。(福田中学校区)

子ども安全情報を船形の駐在便りで自治会として知る機会がある。ほかの地区でも情報がわかった方がいい。(川間中学校区)

地域安全マップを作ったらどうか。現在の状況を把握することが重要。子どもに聞くとマークするので、子ども目線で作る。誰も子どもの意見を聞かない。現状を把握し、課題を炙り出し、パトロールに繋げる。学校、自治会、青少年課で、何が一番の課題か。中学校区位の単位で、子ども達の情報を集約してはどうか。(岩名中学校区)

市長さんと話そうとの中で、子どもたちが凄く関宿のことを考えているなど感じた。緑を残しつつも何とか交通が発展しないのかとか、ごみのないきれいな関宿の町にしたいとか、あいさつがもっと活発になる街にしたいということを、市長に伝えていた。そういうことを考えながら生活している。(関宿中学校区)

小学校6年生が変顔のアプリを使ってラインに載せてしまった。夏休みに親からスマホ買ってもらいやりたくてしょうがない児童でした。5・6年生を中心に、外部から講師を招いて講習会を行った。(関宿中学校区)

3 健全育成活動を進める上での「着目点」

今年度の地区別懇談会等での意見を見ると、今後に向けての新たな取組、活動を行う上でヒントとなるような意見が出されています。

まず、テーマ1の「学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進に関連するものとしては、あいさつの重要性。そしてこれが学校では実践されているものの、家庭、地域ではまだ不十分であるということ。

地域全体で「あいさつ、声かけ、会話」を推進するにあたって、接する大人が安全であることを知らせるサインとなる物（リボン、バッチ、腕章等）を作るといった意見について、今回の皆さんからの意見は必要と思う意見とサインが悪用される恐れがあるので心配との意見があり、子ども達の意見を聞き引き続き検討が必要との意見や子ども達との交流により地域の大人と子どもがお互いの顔を覚えることが必要との意見もありました。

また、テーマ2の「地域における健全育成活動の推進」に関しましては、地域のイベントには子ども達が積極的に参加するよう学校も地域も考え実施していること、そして、ただ単に参加するだけでなく、地域の方々と一緒に活動し、子ども達に色々な経験を踏ませることで、信頼感が生まれ地域の中に安心感をもたらすと感じたとの意見がございました。

また、親達が地域に関心を持たない方が多いため、地域に関心を持つことが必要との意見がありました。

テーマ3の「子ども達が安心できる社会環境づくり」につきましては、子ども達を犯罪、事故等から守る地域と連携した見守り活動が引き続き必要であるということ。

ここでも、大人と子どもたちの顔をつなぐことで安全安心につながると言った意見がありました。

また、中学校区位の単位で、子ども達の情報を集約し、地域安全マップを作りパトロールに繋げるといった意見がありました。

以上のことを踏まえ、来年度は別紙のとおり3つのテーマを推進していくことにいたします。

■今回の地区別懇談会から見えてきた健全育成活動を進める上での「着目点」

○あいさつは、家庭や学校では勿論の事、地域内の絆をも強める。

○学校、家庭、地域が連携し、大人が積極的にあいさつ、声掛けをするよう推進する。

○安全な大人のサインについては、子ども達の意見も踏まえて考え、子ども達を見守る上で、大人達の意識改革が大事であり、あいさつ運動を推進し安全安心な地域環境づくりを目指す。

○子ども達と地域の方々が色々な形で交流を深め、お互いの顔を知ることがとても大切。

○地域、保護者、学校は互いに連携し、交通安全、事故防止に配慮しつつ、不審者、犯罪者から子ども達を守る見守り活動を継続する。また、子ども達自身の様子、家庭環境についても、見守り活動と捉え注視する。

(案)

平成30年度 青少年健全育成活動のテーマ

青少年の健全育成活動を推進するためには、大人の意識改革並びに子どもたちへのさらなる見守りが重要であるという考えのもと、昨年に引き続き以下の三つの活動を今年度も推進します。

1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

2 地域における健全育成活動の推進

3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

次代を担う子ども達を導き育むのは、私達大人の責務です。子育てや地域活動のあり方について今一度見つめ直し、大人としての意識を高め、親はもちろんの事、地域の大人達が積極的に「あいさつ」や「声かけ」そして「会話」を実践していくことが重要となります。大人ひとりひとりが家庭や学校そして職場であいさつをし、それを地域全体で広め明るく健全な地域社会をつくるよう心掛ける必要があります。

- 家庭は全ての教育の出発点である。まずは親が率先してあいさつをし、その日の出来事について話をするといった家庭環境を作る。その中で、子どもがきちんと家庭でのルール、社会でのルールを身に付けられるような家庭教育を実践する。
- 学校、保護者、自治会、青少年育成団体は、それぞれの実情を理解し「あいさつ・声かけ運動」をより一層推進するとともに、子どもの行動に目を配り、状況によっては褒める、叱るといったことも実践する。
- 「地域全体で取組むあいさつ運動」を地域のスローガンとして提唱し、地域でイベント等を行う際は、あいさつを唱和するなどの時間を設け、地域全体で推進していることを確認、啓発していく。また、あおいそら運動推進委員会が実践している「あおいそら運動」、千葉県が実施している「青少年を健全に育てる運動」と連携を図り推進する。
- あいさつは地域の子ども達と大人がふれあう最高のツールである。

2 地域における健全育成活動の推進

毎年各地域において、学校、PTA、青少年育成団体等が相互に連携し、子ども達を巻き込んだ事業を活発に展開しているが、これまで以上に参加者が広がり、世代間のつながりのある地域となるようさらなるネットワークを活用して、大人から子どもまで多くの方々が地域活動に参加し、交流を深めることができるよう取り組みます。

- 地域の青少年健全育成に関する多様な意見に対応するため、学校支援地域本部、公民館、地域団体等が連携し、情報を共有するとともに、新たな地域の取り組みに対し積極的に協力する。
- 地域行事を青少年の健全育成と結びつける為、各参加団体との連携を密にするとともに、子ども達が好奇心を持って参加できるような仕事、役割を与える。
- 野田市には他市にはない歴史、自然環境がある。それらを活用した野田の特色ある地域行事を実施し、子ども達の郷土愛を育む伝統文化の継承そして世代間の交流をはかり明るい地域づくりを目指す。
- 地区別懇談会を通じて、各団体の行事、教育委員会行事について周知し、場合によっては相互調整や情報交換を行う。
- 「早寝早起き朝ごはん」を推進し、子どもの基本的生活習慣の確立や生活リズムの向上に繋げる。

3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

携帯電話、スマートフォン等の普及により、子ども達を取り巻く環境は大きく変化し、インターネットによるトラブル、事件等があとをたちません。また、子ども達の交通事故についても横ばいとなっており、不審者についてはその数が減少しているものの相変わらず出没しているといった状況です。大人はこうしたトラブル、事件、事故等から子ども達を守る責任があります。そのために、インターネットの危険性について学ぶと共に、交通安全、事故防止、不審者対策、非行防止等、様々な観点から子ども達を見守り、安心安全な社会環境が実現できるよう取り組みます。

- インターネットの危険性を保護者に周知し、家庭でスマートフォンのルールを作り、子ども達に教育する。そんな家庭教育をめざし、講習会を実施していく。また、各青少年健全育成団体等に対しても、同様に啓発するものとする。
- 不審者情報を配信することで、子ども達の安全安心を守るための意識高揚を促す。また、その効果を上げるため、メール登録者が増えるようPR活動に努める。
- 地域安全マップを活用し、事件、事故、非行防止等の見守り活動を推進する。
- 青少年センターが実施しているパトロールについて、不審者出没場所、時間帯の傾向、および青少年の非行行動に対応した市内重点パトロールを臨機応変に実施する。
- 子ども達を見守る上で、親達が地域に関心を持ち、効果の上がる方策について検討する。(サインの作成等)

平成29年度 青少年健全育成活動のテーマ

青少年の健全育成活動を推進するためには、大人の意識改革並びに子どもたちへのさらなる見守りが重要であるという考えのもと、昨年に引き続き以下の三つの活動を今年度も推進します。

1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

2 地域における健全育成活動の推進

3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

1 学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

次代を担う子ども達を導き育むのは、私達大人の責務です。子育てや地域活動のあり方について今一度見つめ直し、大人としての意識を高め、親はもちろんの事、地域の大人達が積極的に「あいさつ」や「声かけ」そして「会話」を実践していくことが重要となります。大人ひとりひとりが家庭や学校そして職場であいさつをし、それを地域全体で広め明るく健全な地域社会をつくるよう心掛ける必要があります。

- 家庭は全ての教育の出発点であり、規則正しい生活を大切にまずは親が率先してあいさつをし、その日の出来事について話をするといった家庭環境を作る。その中で、子どもがきちんと家庭でのルール、社会でのルールを身に付けられるような家庭教育を実践する。
- 学校、保護者、自治会、青少年育成団体は、それぞれの実情を理解し「あいさつ・声かけ運動」をより一層推進するとともに、子どもの行動に目を配り、状況によっては褒める、叱るといったことも実践する。
- 「地域全体で取組むあいさつ運動」を地域のスローガンとして提唱し、地域でイベント等を行う際は、あいさつを唱和するなどの時間を設け、地域全体で推進していることを確認、啓発していく。また、あおいそら運動推進委員会が実践している「あおいそら運動」、千葉県が実施している「青少年を健全に育てる運動」と連携を図り推進する。

2 地域における健全育成活動の推進

毎年各地域において、学校、PTA、青少年育成団体等が相互に連携し、子ども達を巻き込んだ事業を活発に展開しているが、これまで以上に参加者が広がり、世代間のつながりのある地域となるようさらなるネットワークを活用して、大人から子どもまで多くの方々が地域活動に参加し、交流を深めることができるよう取り組みます。

- 地域の青少年健全育成に関する多様な意見に対応するため、学校支援地域本部、公民館、地域団体等が連携し、情報を共有するとともに、新たな地域の取り組みに対し積極的に協力する。
- 地域行事を青少年の健全育成と結びつける為、各参加団体との連携を密にするとともに、子ども達が好奇心を持って参加できるような仕事、役割を与える。
- 野田市には他市にはない歴史、自然環境がある。それらを活用した野田の特色ある地域行事を実施し、子ども達の郷土愛を育む伝統文化の継承そして世代間の交流をはかり明るい地域づくりを目指す。
- 地区別懇談会を通じて、各団体の行事、教育委員会行事について周知し、場合によっては相互調整や情報交換を行う。

3 子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

携帯電話、スマートフォン等の普及により、子ども達を取り巻く環境は大きく変化し、インターネットによるトラブル、事件等が増えています。また、今年度は子ども達の交通事故が増えており、不審者もその数は増加しており相変わらず出没するといった状況です。大人はこうしたトラブル、事件、事故等から子ども達を守る責任があります。そのために、インターネットの危険性について学ぶと共に、交通安全、事故防止、不審者対策、非行防止等、様々な観点から子ども達を見守り、安心安全な社会環境が実現できるよう取り組みます。

- インターネットの危険性を保護者に周知し、それを日常生活の中で子ども達に教育する。そんな家庭教育をめざし、実習を交えた講習会を実施していく。また、各青少年健全育成団体等に対しても、同様に啓発するものとする。
- 不審者情報を配信することで、子ども達の安全安心を守るための意識高揚を促す。また、その効果を上げるため、メール登録者が増えるようPR活動に努める。
- 地域安全マップを活用し、事件、事故、非行防止等の見守り活動を推進する。
- 青少年センターが実施しているパトロールについて、不審者出没場所、時間帯の傾向、および青少年の非行行動に対応した市内重点パトロールを臨機応変に実施する。
- 子ども達を見守る上で、効果の上がる方策について検討する。(サインの作成等)

平成29年度 青少年健全育成活動テーマ

学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

- ・家庭でのあいさつ、声かけ、会話の推進
- ・地域全体でのあいさつ運動の推進
- ・スローガンによるあいさつ運動の推進
- ・家庭教育の推進

活動テーマの各団体への
協力要請・共通認識

地域における健全育成活動の推進

- ・学校支援本部、地域団体等と連携し地域での情報共有を推進し、地域の取り組みに対する支援の強化
- ・参加団体間の連携を深めるとともに、子どもたちの主体的な活動の促進
- ・地域の特色あるふるさと伝承講座の推進
- ・地区別懇談会による各団体や教育委員会の行事についての周知、調整、情報交換の推進

活動テーマの各団体への
協力要請・共通認識

子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

- ・携帯電話の危険性についての大人（保護者）への講習会の開催、啓発活動の推進
- ・不審者情報の配信、地域全体での危険個所の共有及び危険意識の高揚を図り地域全体での見守りを推進
- 子ども安全情報の登録者拡大
- ・青少年センターによる不審者出没地域及び非行防止に対応した重点パトロールの推進

地区別懇談会での地域情報、意見

- 子ども達と地域の方々が色々な形で交流を深め、お互いの顔を知ることがとても大切。
- 地域の子ども達に顔を知ってもらうためにはあいさつを継続して行うことが一番。
- あいさつを交わす特定の場所を設定してはどうか。
- サインを作るとか作らないとかの結論を出す前に、子ども達の意見を聞いてはどうか。
- 地域活動に関心を持たない方々が多い。地域に関心を持つようなイベントやPR活動を計画していけばいい。
- 地域、保護者、学校は互いに連携し、交通安全、事故防止に配慮しつつ、不審者、犯罪者から子ども達を守る見守り活動を継続する。また、子ども達自身の様子、家庭環境についても、見守り活動と捉え注視する。

学校・家庭・地域での「あいさつ・声かけ・会話」の推進

- ・家庭でのあいさつ、声かけ、会話の推進
- ・地域全体でのあいさつ運動の推進
- ・スローガンによるあいさつ運動の推進
- ・家庭教育の推進

健全育成活動の取組み

- 地区別懇談会の開催
- オープンサタデークラブの開催
- 柔剣道大会の開催
- 子ども釣大会の開催
- こどもまつりの開催
- ふるさと伝承講座の開催
- 少年野球教室の開催
- 親子映画会の開催
- ジュニアリーダー養成講習会の開催
- 家庭教育学級の開催

平成30年度 青少年健全育成活動テーマ

地域における健全育成活動の推進

- ・学校支援地域本部、地域団体等と連携し、地域での情報共有を推進するとともに、地域の取り組みに対する支援の強化
- ・参加団体間の連携を深めるとともに、子どもたちの主体的な活動の促進
- ・地域の特色ある行事の推進及び伝統文化の継承並びにふるさと伝承講座の推進
- ・地区別懇談会等での地域、団体、教育委員会の行事についての周知、調整、情報交換の推進

安心できる社会環境づくりの取組

- 不審者情報の配信
- 青少年センターが実施する安全パトロール、非行防止の街頭指導の実施
- 補導員による定期、駅周辺、電車内、地域自主街頭指導の実施
- 青少年相談員による自主事業の開催
- 補導員・相談員による環境浄化活動の実施
- インターネットの危険性に関する講演会の開催
- 家庭教育学級の開催
- 学校、地域団体等が実施する防犯パトロール等

子どもたちが安心できる社会環境づくりの推進

- ・インターネットの危険性に関する大人（保護者）向け講習会の開催、啓発活動の推進
- ・不審者情報の配信、地域全体での危険個所の共有及び危険意識の高揚を図り、地域全体での防犯、防災、見守り活動を推進
- ・子ども安全情報の登録者拡大
- ・青少年センターによる不審者出没地域及び非行防止に対応した重点パトロールの推進

平成29年度 野田市子ども安全情報について

○平成30年1月31日現在

子ども安全情報登録件数 14,280件

子ども安全情報配信件数 24件

○種類別不審者情報件数

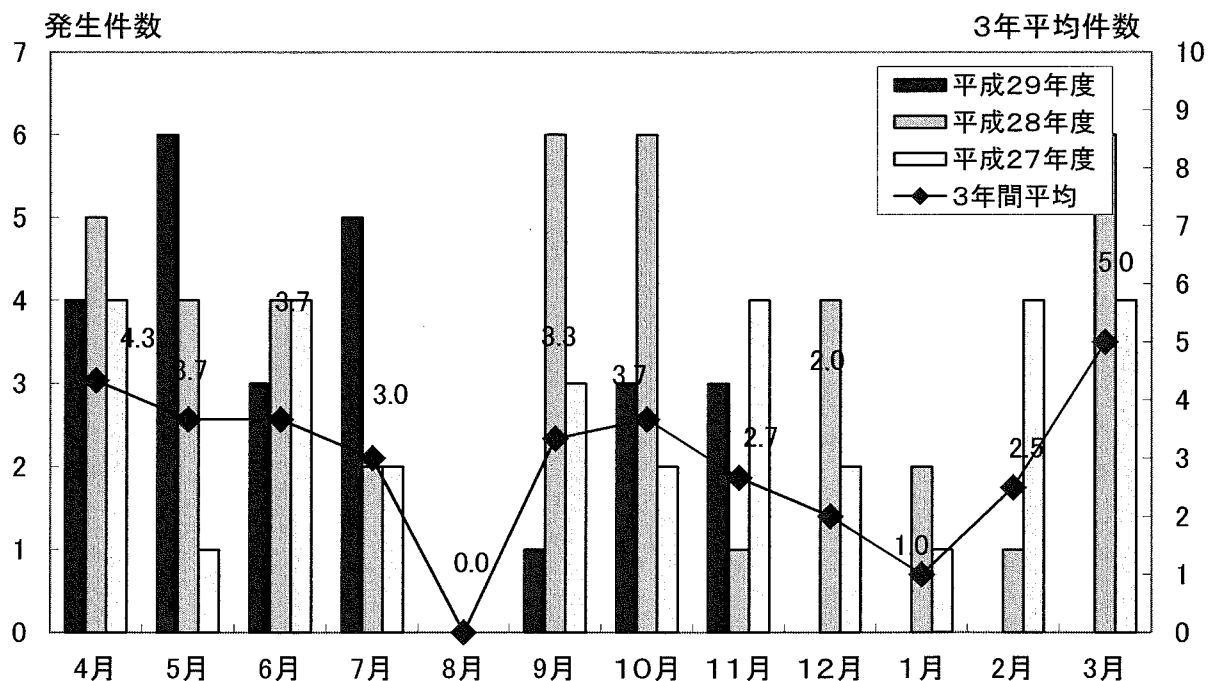
不審者の種類	分類	平成29年度	平成28年度	平成27年度
刃物を持っている・脅される	刃物を持ち歩く・脅される 傷つけられる			1 ※注1
強盗	強盗犯が逃走中・強盗に遭う			
車に引き込まれる	車に引き込まれる・引き込ま れそうになる			
殴られる・蹴られる	殴られる・蹴られる			
体をつかまれる・倒される・ 触られる	体の一部をつかむ・抱きつ く・はがはいじめられる	1	1	5
	倒され首を絞められる			
	倒される・倒されそうになる		2	2
	体の一部を触る・押される		4	2
	下半身を触らされる	1		
液体等をかけられる	スプレーを噴射される			
追いかけるられる	追いかけるられる・ついてこられる	2	4	4
	自転車・自動車で追いかけるられる			
不審者がうろついている	下半身、全身露出	13	12	6
	写真・映像を撮られる			1
	所持品を奪う			
	怒鳴る・声をかけられるなど	8	18	10
	その他(道にロープを張る)			
合 計		25	41	31

※2件同時配信あり

・平成27年度
※注1(10/20流山市)

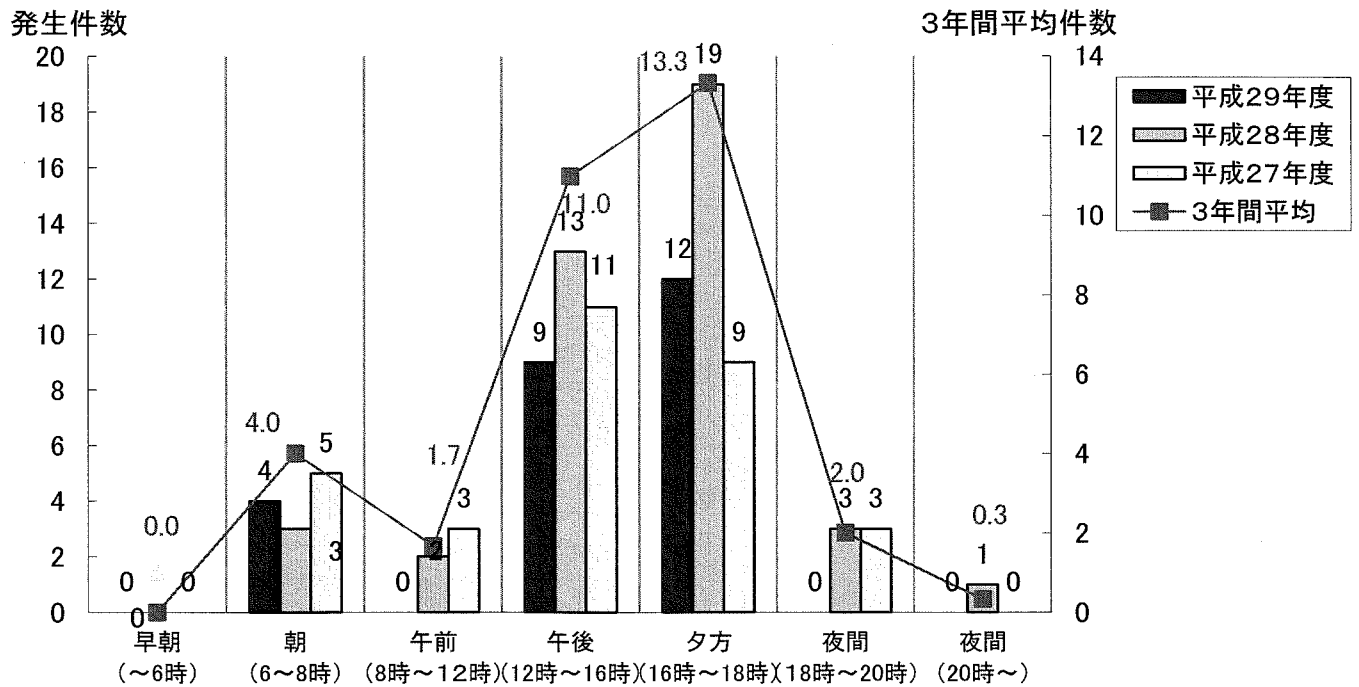
○月別不審者情報件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	4	6	3	5	0	1	3	3	0	0			25
平成28年度	5	4	4	2	0	6	6	1	4	2	1	6	41
平成27年度	4	1	4	2	0	3	2	4	2	1	4	4	31



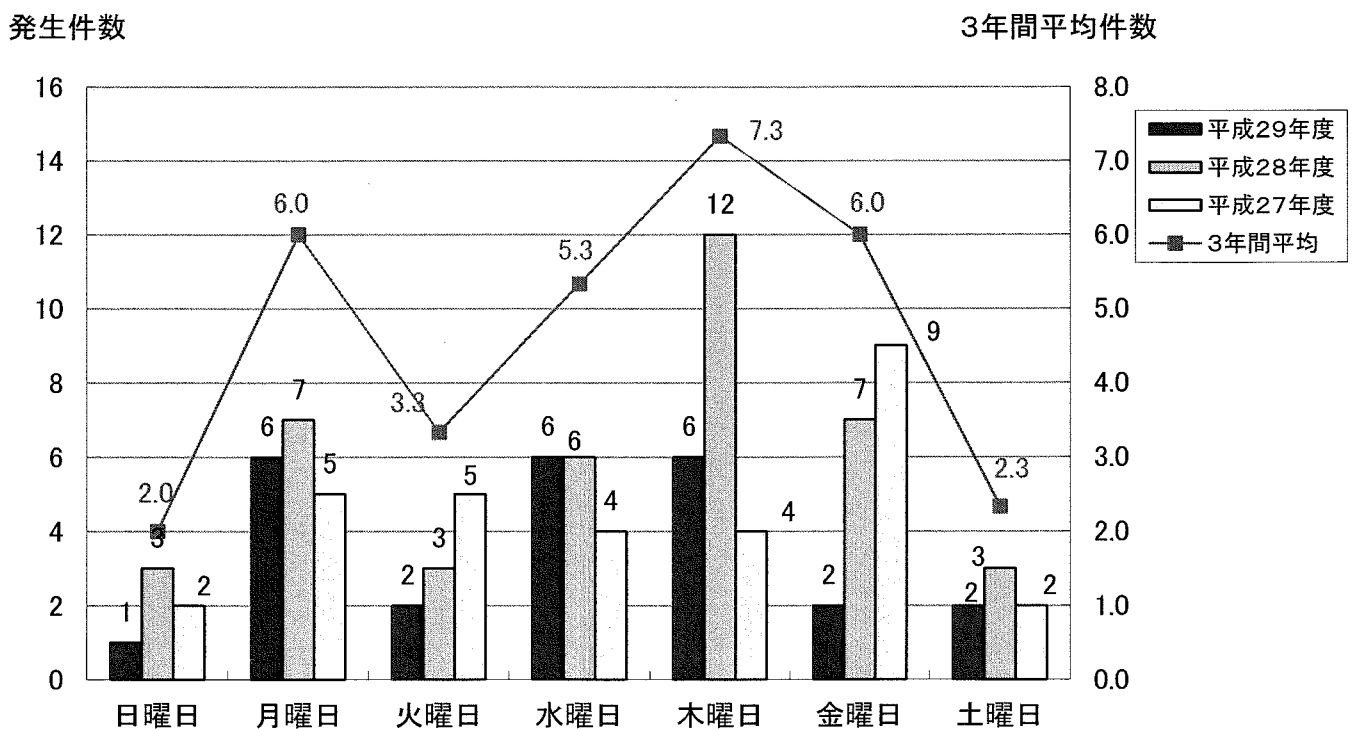
○発生時間別不審者情報件数

	早朝 (～6時)	朝 (6～8時)	午前 (8時～12時)	午後 (12時～16時)	夕方 (16時～18時)	夜間 (18時～20時)	夜間 (20時～)	合 計
平成29年度	0	4	0	9	12	0	0	25
平成28年度	0	3	2	13	19	3	1	41
平成27年度	0	5	3	11	9	3	0	31



○発生曜日別不審者情報件数

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合 計
平成29年度	1	6	2	6	6	2	2	25
平成28年度	3	7	3	6	12	7	3	41
平成27年度	2	5	5	4	4	9	2	31

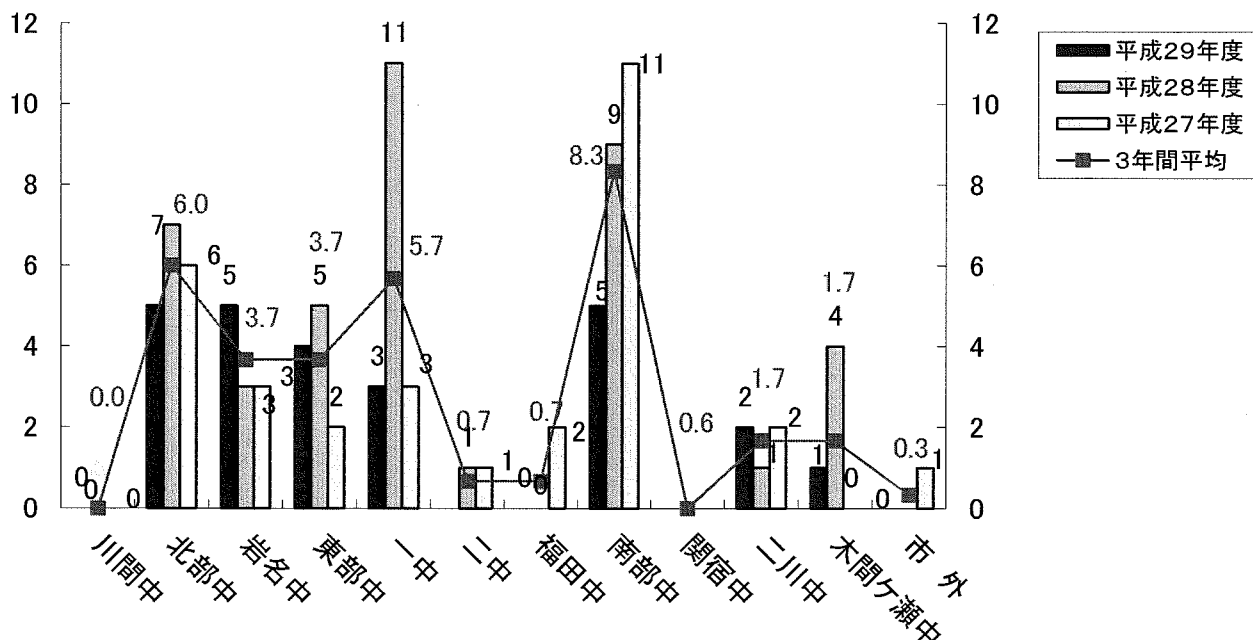


○発生地区別不審者情報件数

学校区	川間中	北部中	岩名中	東部中	一中	二中	福田中	南部中	関宿中	二川中	木間ヶ瀬中	市 外	合計
平成29年度	0	5	5	4	3	0	0	5	0	2	1	0	25
平成28年度	0	7	3	5	11	1	0	9	0	1	4	0	41
平成27年度	0	6	3	2	3	1	2	11	0	2	0	1	31

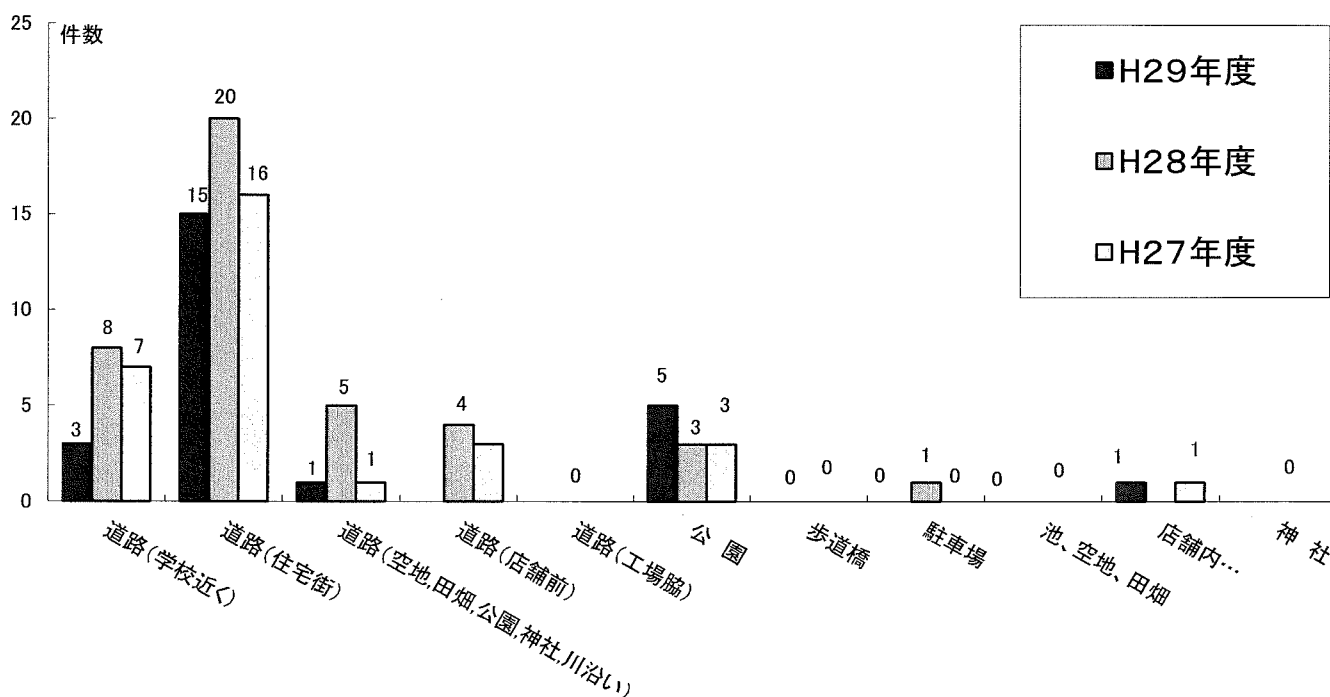
発生件数

3年間平均件数



○発生場所別不審者情報件数

場 所	道路(学校近)	道路(住宅街)	道路(空地、田畑、公園、神社、川沿い)	道路(店舗前)	道路(工場脇)	公 園	歩道橋	駐車場	池、空地、田畑	店舗内建物内	神 社	計
H29年度	3	15	1	0	0	5	0	0	0	1	0	25
H28年度	8	20	5	4	0	3	0	1	0	0	0	41
H27年度	7	16	1	3	0	3	0	0	0	1	0	31



○平成29年度不審者人物像

性別	男	女	不明
件数	24	1	0

年齢	20代前後	20代～30代	30才位	30才代	30代～40代	40才位	40才代	40代～50代	50才位	50代～60代	不明
件数	2	2	2	4	2	3	3	2	0	2	3

行動手段	徒歩	自転車	バイク	自動車	その他	不明
件数	13	7	0	4	1	0

